

令和7年2月10日

江戸川区立小松川第二中学校

校長 星谷 雅俊

令和6年度 江戸川区立小松川第二中学校 学校アンケートを受けて

1 調査概要

(1) 期間

令和6年11月25日(月)～12月13日(金)

(2) 方法

- ・Microsoft Formsによる
- ・記名式

(3) 対象

第1学年から第3学年まで在籍する生徒の保護者(1家庭1回答)

(4) 回答数

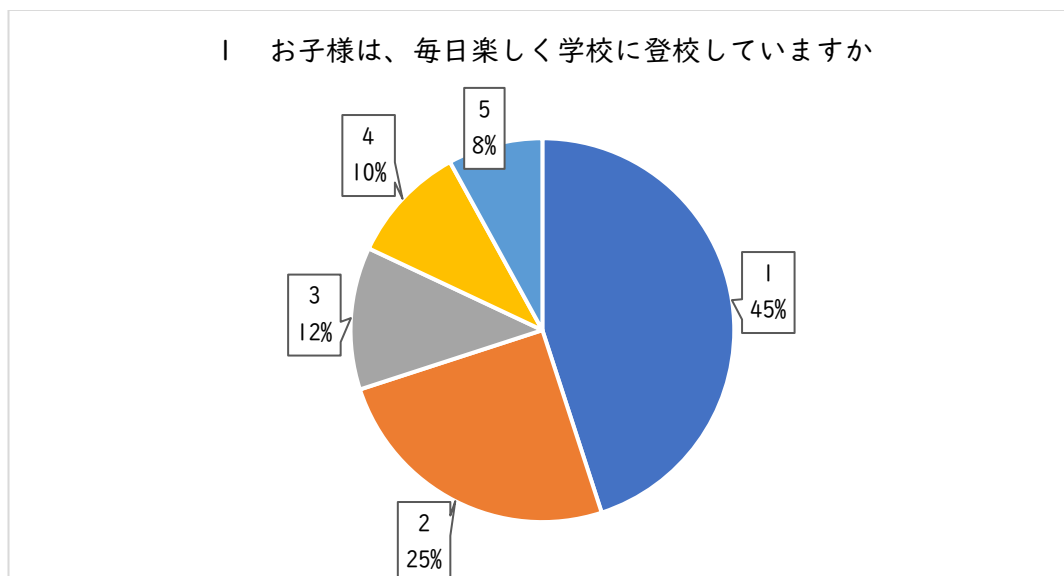
195名(45%)

2 回答概要

《評価項目》

- 1 あてはまる
- 2 ややあてはまる
- 3 あまりあてはまらない
- 4 あてはまらない
- 5 わからない

(1) お子様は、毎日楽しく学校に登校していますか



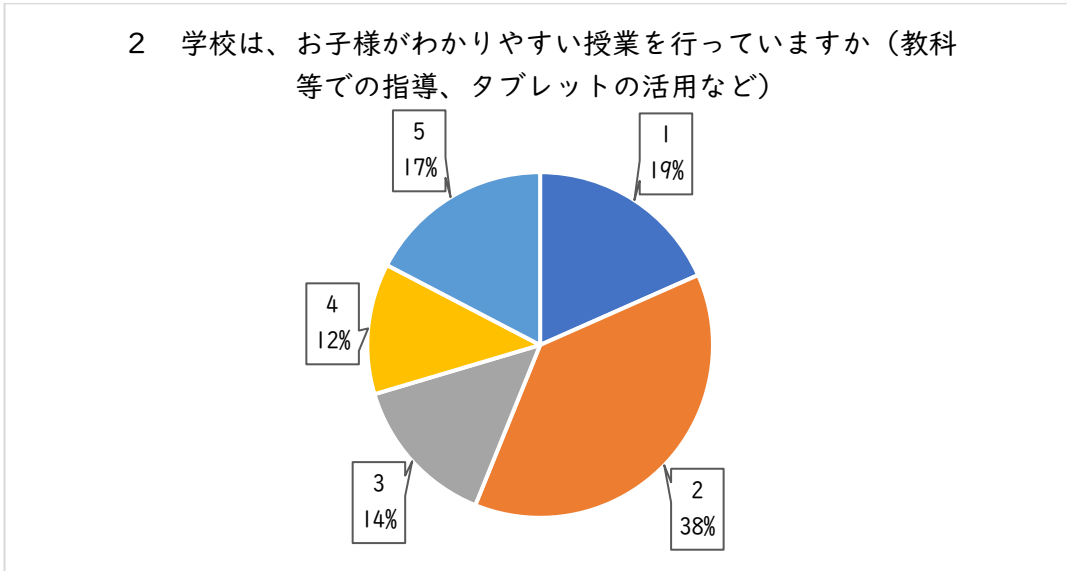
・肯定的な評価が70%

・学校からの発信で楽しさが伝わる、というご意見

・ご家庭で生徒が話をしないため、わからない、というご意見

→「学校が楽しい」と、卒業してからも思える教育活動を行うため、引き続き生徒が興味をもって取り組む活動を推進するとともに、生徒一人一人の課題に合った教育活動を行うことができるよう、教職員が一体となって取り組んでいきます。

(2) 学校は、お子様がわかりやすい授業を行っていますか（教科等での指導、タブレットの活用など）



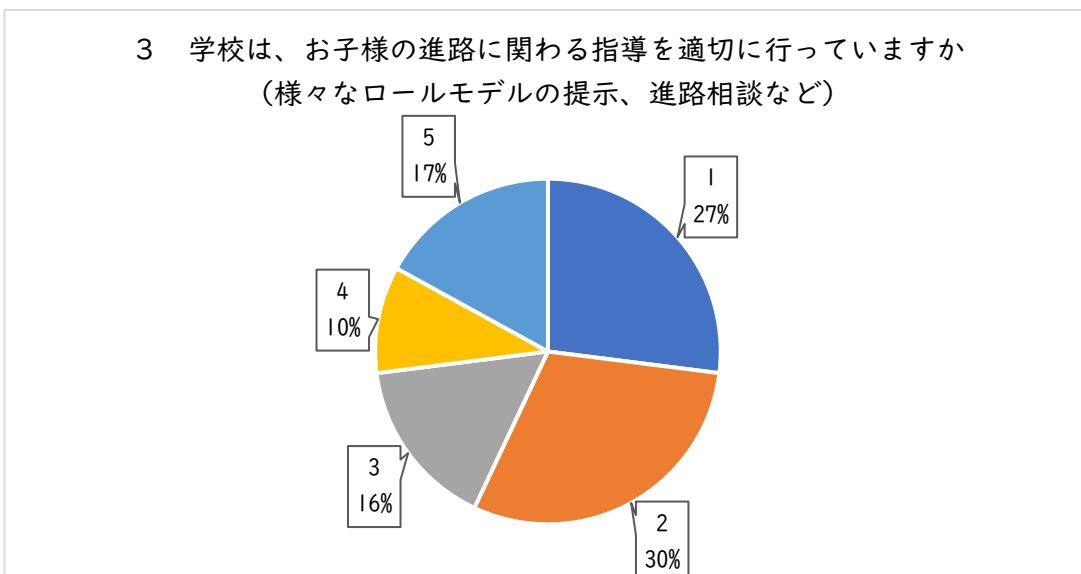
・肯定的な評価が57%

・家庭でのiPadの使い方を指導してほしいというご意見

・学力をしっかり身に付けてほしいというご意見

→今年度より実施される区学力調査の結果も生かし、個に応じた指導が展開できるよう、取り組んでまいります。また、タブレットの利用については、「SNS東京ルール」「小松川第二中学校SNS学校ルール」「えどタブルール」を基にした「SNS家庭ルール」の策定を推進し、情報化社会のリテラシーを育みます。

(3) 学校は、お子様の進路に関わる指導を適切に行っていますか（様々なロールモデルの提示、進路相談など）

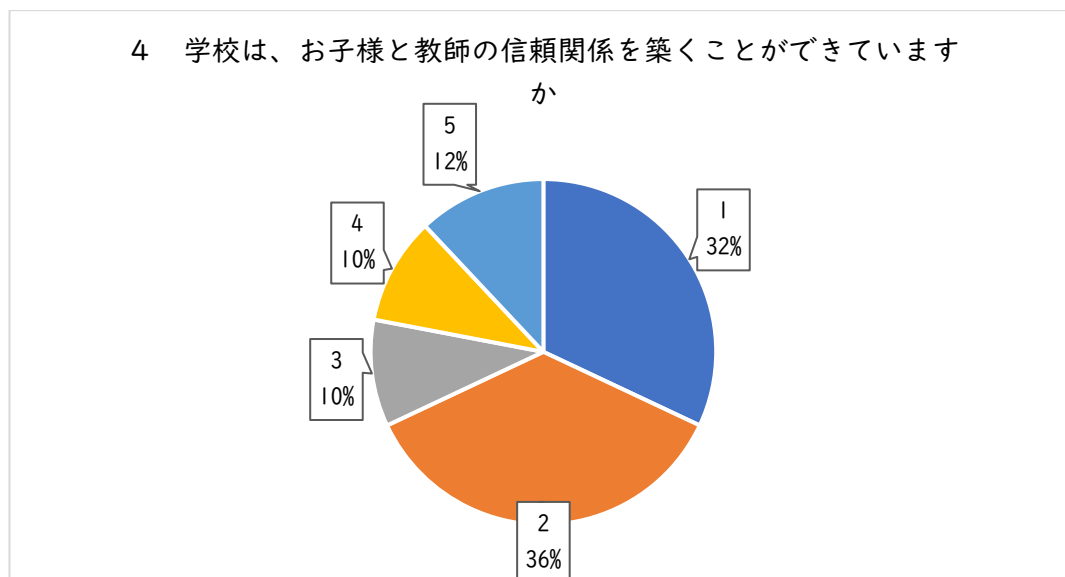


・肯定的な評価が57%

・大学生に話を聞く機会があり、参考になったというご意見

→「キャリアパスポート」を活用した、小学校6年間から中学校3年間の継続した進路指導について、引き続き取り組んでいくとともに、進学指導にとどまらない本校の指導について、発信をしていきます。

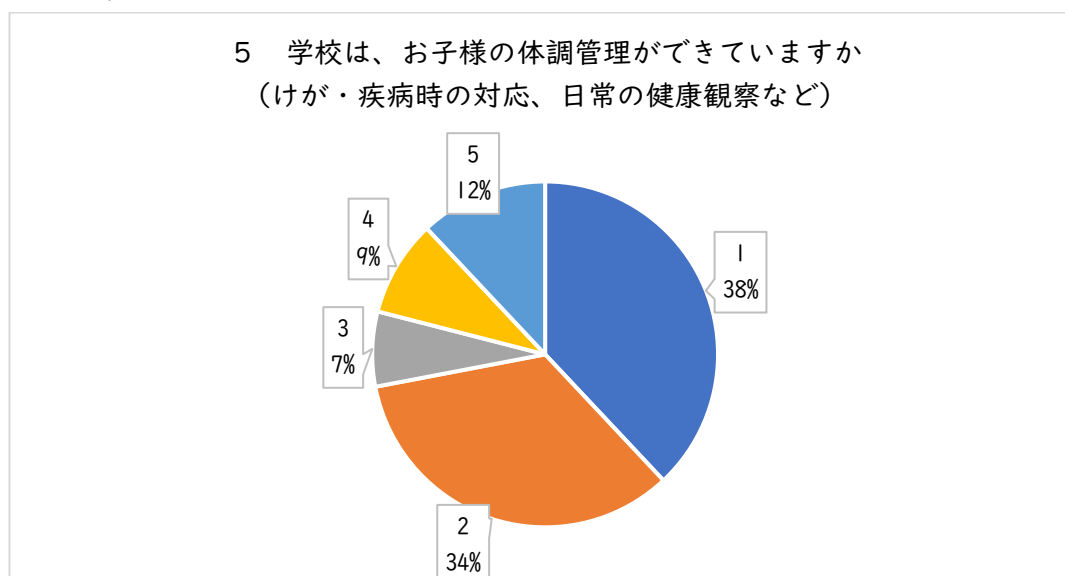
(4) 学校は、お子様と教師の信頼関係を築くことができますか



- ・肯定的な評価が68%
- ・信頼できる教員が多いというご意見
- ・言葉遣いがきつく、心配なことがあるというご意見

→教職員の人権意識を高め、日々の指導の中で不快に思う方々がいなくなるように努めてまいります。また、部活動にも熱心に取り組む本校の生徒、および教職員が、コミュニケーションを多くとる中で信頼関係を築いていく土壌を踏襲しつつ、生徒個々人の個性に応じた対応の仕方を教職員が行えるよう、指導技術の向上と生徒観察の力の育成に努めます。

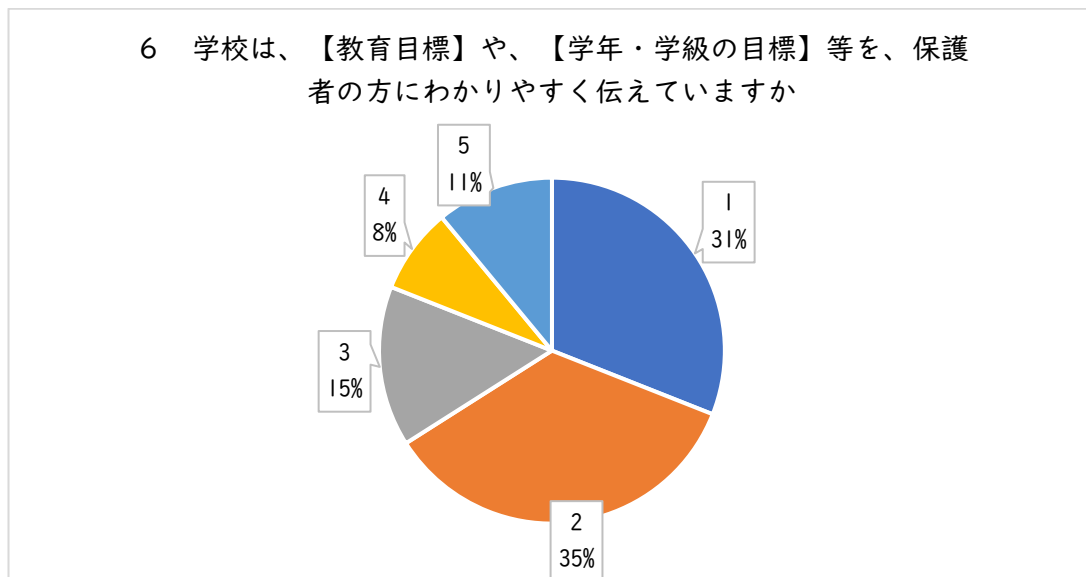
(5) 学校は、お子様の体調管理ができていますか（けが・疾病時の対応、日常の健康観察など）



- ・肯定的な評価が72%

→緊急時の対応において、養護教諭・担当教諭、管理職が情報を共有して迅速に活動することができます。引き続き、安全管理に努めてまいります。

(6) 学校は、【教育目標】や、【学年・学級の目標】等を、保護者の方にわかりやすく伝えて
いますか

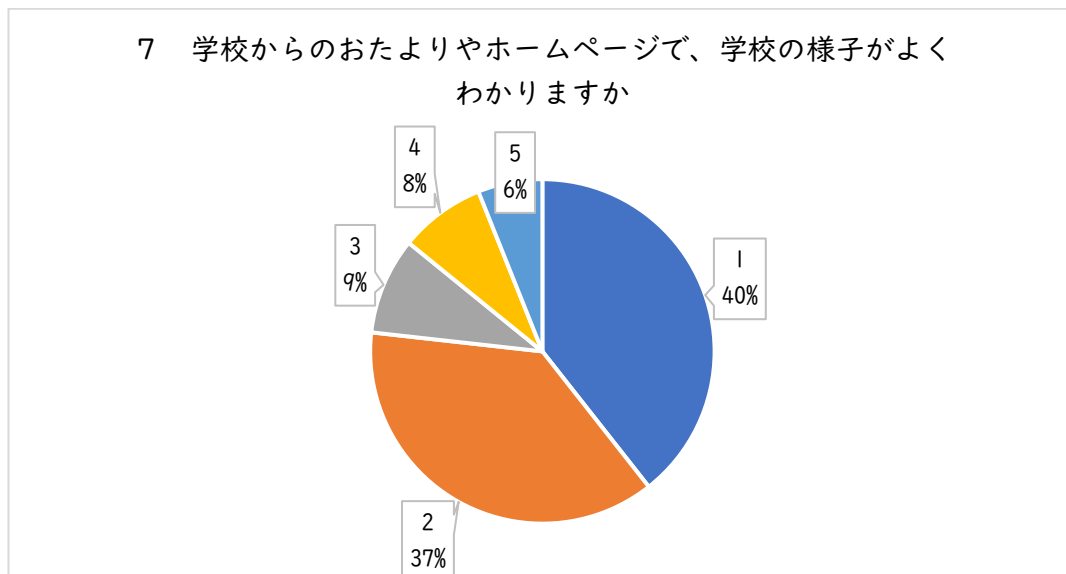


・肯定的な評価が66%

→年度初めに【教育目標】をHPに掲載して周知し、保護者会頭において「学年・学級の目標」を周知することができました。

また、各行事では各学級、各学年がそれぞれ目標を定め、廊下に掲示して取り組むなど、スモールステップでの課題達成に努めています。

(7) 学校からのおたよりやホームページで、学校の様子がよくわかりますか



・肯定的な評価が77%

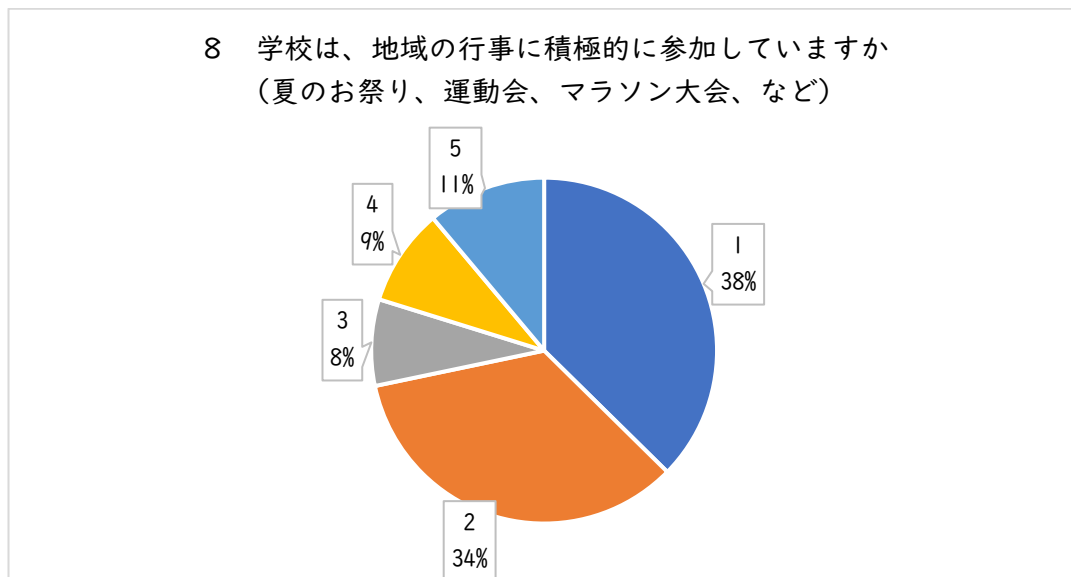
・学級通信から学校の様子がわかるというご意見

・生徒心得がホームページからみられるため、わかりやすいというご意見

・ホームページに更新されていないページがあるというご意見

→学校だよりの定期発行、およびホームページへの掲載を実施しています。また、週に1回の学年だよりの発行、月に1回の給食だよりの発行とホームページへの掲載を実施しています。それぞれの配布物については、t e t o r uを活用して配信しています。学校ホームページの逐次更新に努めてまいります。

(8) 学校は、地域の行事に積極的に参加していますか (夏のお祭り、運動会、マラソン大会、など)

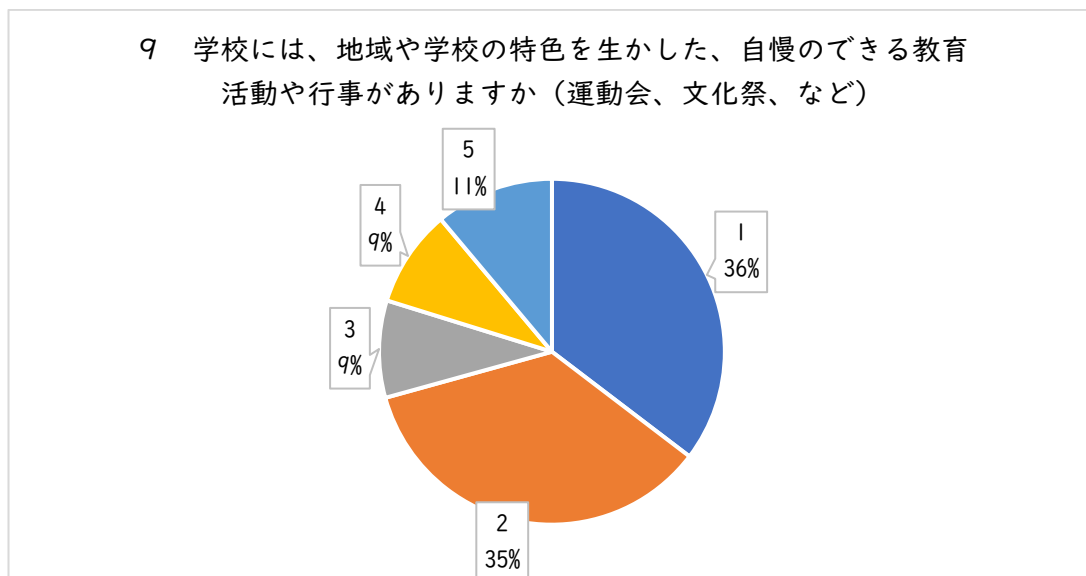


・肯定的な評価が72%

→小松川平井地区連合第大運動会には、約100名の生徒がボランティアを申し込みました。小松川平井地区マラソン大会については、約5名の選手申し込みと、約10名のボランティア申し込みを行いました。

また、夏のお祭りや地域行事には吹奏楽部が演奏として参加をし、会場を盛り上げました。

(9) 学校には、地域や学校の特色を生かした、自慢のできる教育活動や行事がありますか (運動会、文化祭、など)



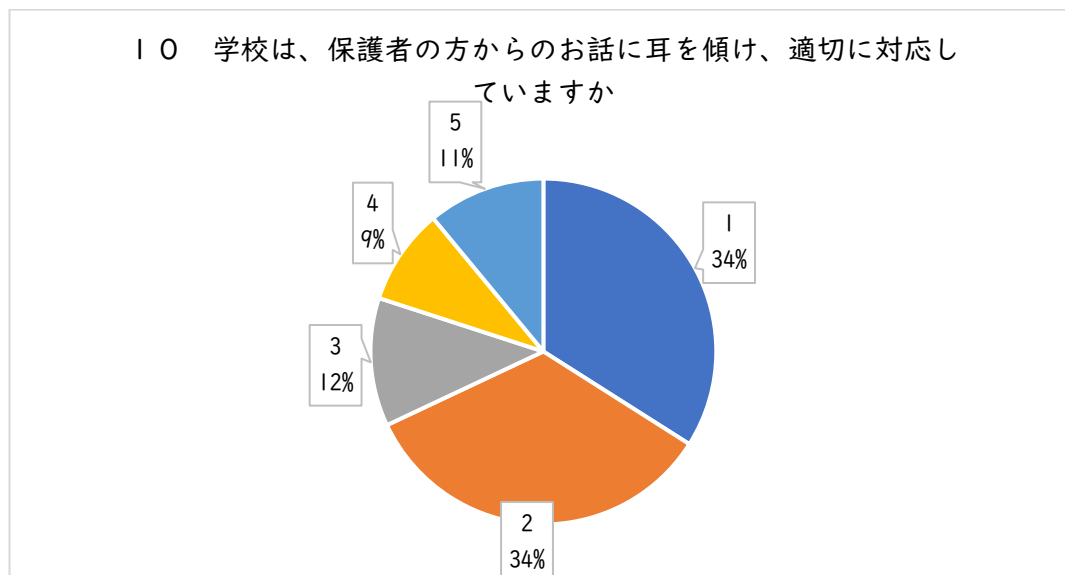
・肯定的な評価が71%

・単元テストの在り方を見直してほしいというご意見

→運動会、文化祭合唱コンクールの部においては、入場制限を設けずに実施をし、多くの方にご覧いただくことができました。文化祭舞台発表の部では、IDホルダーを持つ各家庭2名の保護者に参観いただき、ご覧いただきました。

単元テストの実施方法につきましては、校内で検討してまいります。

(10) 学校は、保護者の方からのお話に耳を傾け、適切に対応していますか



・肯定的な評価が68%

→江戸川区における「令和6年度学校における働き方改革へのご理解とご協力のお願い」に基づき、本校においても『電話の自動応答メッセージ』および『学校閉庁期間』について」を作成し、ご理解を求めてきているところです。

様々な媒体でいただく保護者の方からのお話を、必要な教員、分掌に共有し、丁寧な対応を心がけてまいります。

3 回答取りまとめを受けて

進路指導について、多様な団体をお招きしたり、3年間を通したキャリア教育を実施したりしておりますが、「学校の教育活動が見えにくい」とお答えになっています。引き続き、各種媒体において学校の教育活動を発信していくとともに、保護者会、PTA常任委員会等の機会をとらえて、積極的に活動をお伝えしてまいります。

また、学習活動の要である「授業のわかりやすさ」についても、肯定的なご意見が56%にとどまりました。生徒が自ら課題を見付け、学習に取り組む体験を積み重ねることで、生徒の学習意欲を喚起し、教員が「学んでほしい」、生徒が「学びたい」と思える学習空間を作れるよう、活動してまいります。